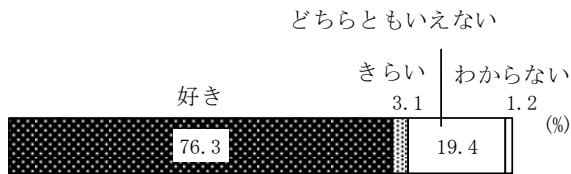


I 過去1年間の宿泊旅行・宿泊観光旅行の実態

A 一般的旅行観

1. 旅行に対する好み

(図表 I-1) 旅行に対する好み



旅行全般について、旅行が好きか、きれいかを聞いたところ、「好き」が76.3%、「どちらともいえない」が19.4%、「きれい」は3.1%であった。

性・年齢別にみると、「好き」は男性(73.4%)より女性(79.2%)に多く、女性の15~39歳(81.0~83.8%)で8割を超えて多くなっている。「好き」の回答率が最も低いのは男性25~29歳(66.5%)であった。

都市規模別では、「好き」は大都市(78.1%)、中都市(76.1%)に多くなっている。

職業別にみると、「好き」は管理職(83.4%)、学生(81.0%)、に多い。

2. よく旅行をするか

(図表 I-2) よく旅行をするか



実際によく旅行をするかを聞いたところ、「よくする」は36.1%、「あまりしない」は50.0%、「全くしない」は13.9%であった。

性・年齢別では、「よくする」は男女とも60歳以上(39.8~44.8%)に多くなっている。一方、「よくする」の回答率が最も低いのは、男性15~17歳(19.8%)。

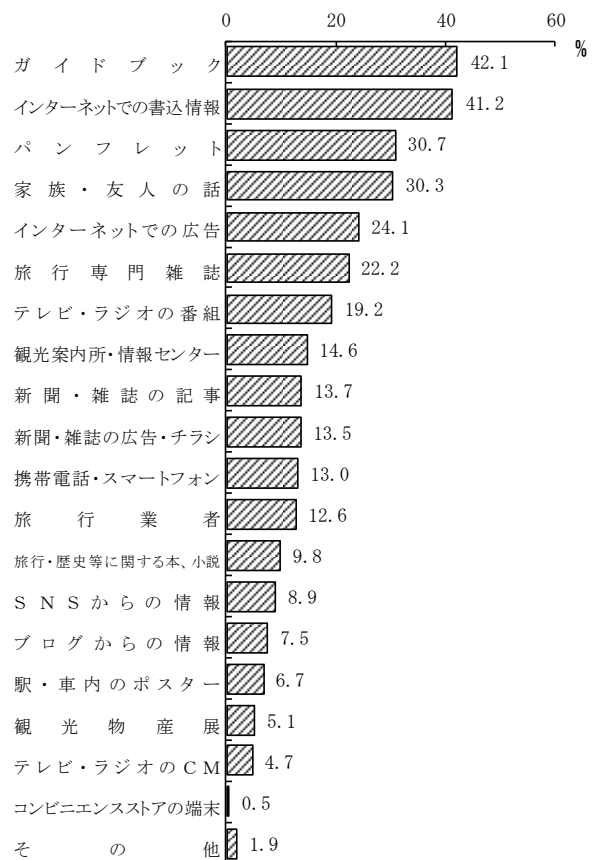
都市規模別にみると、「よくする」は大都市(39.3%)に最も多くなっている。

職業別にみると、「よくする」は管理職(49.6%)で多くなっている。

3. 参考にするもの

宿泊観光旅行の目的地を決定する際に、参考にするものは「ガイドブック」が最も多く42.1%となっている。

(図表 I-3) 参考にするもの



次いで「インターネットでの書込情報」（41.2%）が4割台で高く、以下「パンフレット」（30.7%）、「家族・友人の話」（30.3%）、「インターネットでの広告」（24.1%）などの順となっている。なお、インターネットから情報を得る割合（「インターネットでの書込情報」「インターネットでの広告」「ブログからの情報」「SNSからの情報」の計）は57.5%と「ガイドブック」を15ポイント以上上回る。

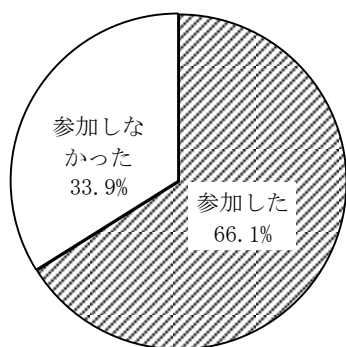
女性は男性よりも「ガイドブック」（44.4%）、「パンフレット」（33.2%）が高い。

年代別では、25～34歳で「ガイドブック」（51.1～52.6%）、25～49歳で「インターネットでの書込情報」（52.1～55.2%）が過半数を超える。また、60歳以上で「パンフレット」（33.1～37.8%）が多くなっている。

## B 宿泊旅行の実態

### 1. 参加率

（図表 I - 4）宿泊旅行の参加率



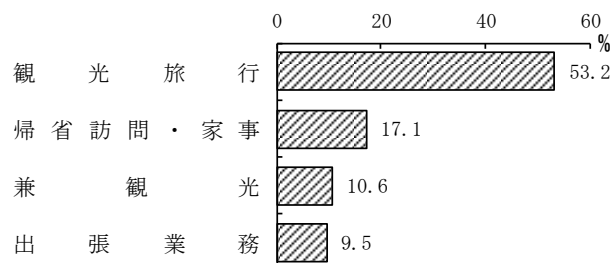
平成28年4月から平成29年3月までの1年間に国内の宿泊旅行をした人は、66.1%であった。

職業別にみると、参加率は管理職（83.8%）や事務・技術職（73.8%）が高い。年代別にみると、30～34歳（70.0%）、35～39歳（69.9%）の参加率が高い。

## 2. 旅行の種類

### <種類別参加率>

（図表 I - 5）旅行の種類



旅行の種類別の参加率（複数回答）は、「観光旅行」（53.2%）が最も多く、以下「帰省訪問・家事」（17.1%）、「兼観光」（10.6%）、「出張業務」（9.5%）の順であった。

「観光旅行」について特徴をみると、次のとおりである。

### <観光旅行>

地域別にみると、関東（55.4%）、甲信越（55.2%）と中部（54.5%）でやや多く、四国（46.8%）、九州（48.9%）で少ない。

年齢別では、20～24歳（57.2%）と60歳以上（55.0～56.2%）でやや多い。一方、15～19歳（44.6～48.8%）、40～59歳（48.5～50.4%）でやや少なくなっている。

職業別では、管理職（66.8%）、事務・技術職（60.4%）に多く、労務・技能職（42.3%）で少なくなっている。

### 3. 参加回数

すべての種類の宿泊旅行を含めた、一人あたりの平均宿泊旅行回数は、

全体平均 2.45回  
参加者平均 3.71回 である。

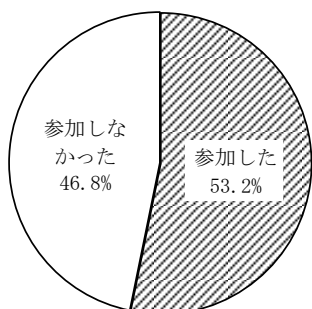
宿泊旅行回数の多い層は、次のとおりである。

宿泊旅行の多い層	宿泊旅行回数 (参加者平均)
男性40～49歳	4.74回
男性50～59歳	5.52回
会社員(管理職)	7.11回
自由業	4.37回

## C 宿泊観光旅行の実態

### 1. 参加率

(図表 I - 6) 宿泊観光の参加率



この1年間に、泊まりがけで国内の観光旅行(以下、「宿泊観光」)に出かけた人は53.2%で、出かけなかった人は46.8%であった。

### 2. 参加回数

1年間の、一人あたりの宿泊観光回数は、全体平均で1.36回、参加者平均で2.56回である。

過去1年間の全人口の宿泊観光の総量を推計すると、次のとおりである。

- ・ 全国民の人口(15歳以上) 10,975万人\*
- ・ 宿泊観光参加者 5,839万人
- ・ 宿泊観光延べ回数 14,926万回

\* 平成27年国勢調査結果

各層別にみると、次のとおりである。

地域別：全体平均は甲信越(1.62回)、中部(1.53回)、関東(1.44回)に多く、参加者平均は甲信越(2.93回)に多い。

(回)

地域	全体平均	参加者平均
北海道	1.29	2.47
東北	1.27	2.39
関東	1.44	2.60
甲信越	1.62	2.93
中部	1.53	2.80
関西	1.39	2.64
中国	1.24	2.42
四国	1.10	2.35
九州	1.06	2.17

都市規模別：全体平均、参加者平均ともに大都市が多い。

(回)

都市規模	全体平均	参加者平均
大都市	1.43	2.59
中都市	1.34	2.55
小都市	1.35	2.59
町村	1.25	2.51

性別・年齢別：性別では、全体平均、参加者平均ともに男性のほうが多い。

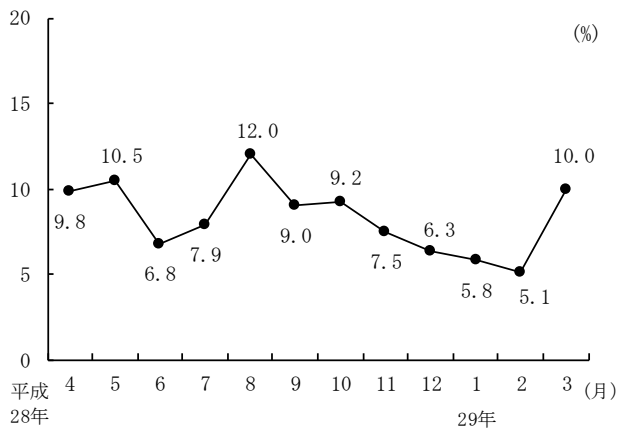
(回)

性別	全体平均	参加者平均
男性	1.38	2.68
女性	1.34	2.46

年齢別では、全体平均では70歳以上(1.60回)、参加者平均では60歳～69歳(2.90回)が最も多い。

### 3. 実施月

(図表 I - 7) 宿泊観光の実施月



宿泊観光のピークは8月(12.0%)で、次いで、5月(10.5%)、3月(10.0%)、4月(9.8%)、10月(9.2%)が続いており、夏、秋、春の行楽シーズンと合っている。

年齢別にみると、8月に出かけたのは15~17歳(25.5%)に多く、5月に出かけたのは70歳以上(11.9%)に多くなっている。

職業別にみると、学生は8月(20.6%)や3月(16.6%)に多く、農林漁業は、9月(14.8%)や3月(13.6%)に多い。

宿泊観光の行動別にみると、8月はほとんどの行動で高い比率となっている。特に、「海水浴」(20.4%)や「水泳(湖・プール)」(17.2%)などのアクティビティ、「レジャーランド・テーマパーク」(14.4%)は8月の割合が高くなっている。

同行者別にみると職場・学校の団体旅行は9月・10月が多く(10.4~11.0%)、地域などの団体旅行は4月・11月の割合が多くなっている(11.6~12.2%)。

(図表 I - 8) 宿泊観光の実施月(旅行先での行動別)

(%)

自然の風景をみる	5月(10.8)	8月(10.3)	10月(10.0)	4月(9.6)
温泉浴	5月(10.3)	10月(9.9)	4月(9.7)	3月(9.6)
名所・旧跡をみる	5月(11.4)	4月(10.1)	10月(10.0)	3月(10.0)
特産品などの買物・飲	5月(10.7)	8月(10.4)	3月(10.4)	9月(9.9)
動・植物園・水族館・博物館・美術館・郷土資料館の見物	8月(11.9)	5月(10.9)	9月(10.1)	4月(9.7)
神仏詣	5月(11.4)	4月(10.4)	8月(10.4)	3月(10.1)
季節の花見	4月(12.6)	5月(11.5)	3月(9.9)	8月(9.1)
レジャーランド・テーマパーク	8月(14.4)	4月(10.5)	5月(10.2)	3月(9.9)
演劇・音楽・スポーツなどの鑑賞・見物	8月(10.9)	5月(9.8)	4月(9.7)	9月(9.1)
ドライブ	3月(10.3)	5月(10.0)	8月(10.0)	10月(9.9)

#### 4. 目的地

(図表 I - 9) 宿泊観光の目的地



宿泊観光に出かけた目的地は、居住都道府県外が87.0%、県内が11.7%で、県外が大勢を占めている。

地域別にみると、県外は、四国（94.1%）、関西（91.3%）、関東（91.1%）に多い。北海道では道内（59.1%）が大半を占めている。また、東北（17.9%）、甲信越（17.0%）でも比較的県内が多くなっている。

都市規模別にみると、大都市・中都市では居住都道府県内の比率が低い（10.1～11.9%）。

年齢別にみると、20～34歳（88.0～92.1%）で県外が多くなっており、70歳以上（14.3%）で県内が多くなっている。

旅行同行者別では、「自分ひとり」で県外が多い（90.4%）。

現住所地域と目的地地域の相関をみると、甲信越・四国以外の地域では同一地域へ向かう比率が多い。中でも、北海道（59.1%）、九州（55.0%）、東北（48.8%）で同一地域内への旅行が約半数と多くなっている。甲信越、四国では、同一地域内への旅行よりも近隣エリアへの旅行が多くなっている。

(甲信越→関東：33.4%、四国→関西：28.0%)

(図表 I - 10) 宿泊観光の目的地（現住所地域別）

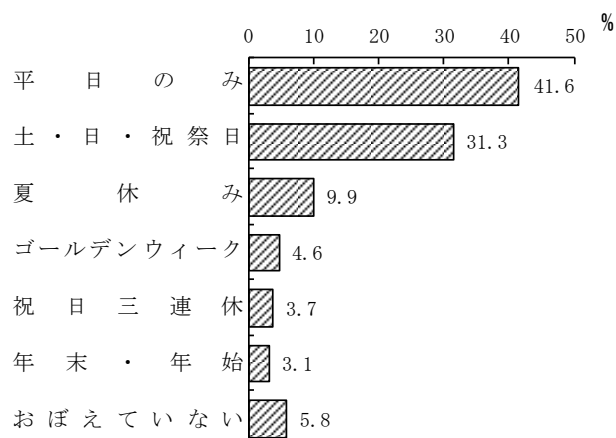
(%)

	北海道	東北	関東	甲信越	中部	関西	中国	四国	九州
(計)	6.5	8.3	24.2	9.1	13.9	17.3	5.7	2.9	10.9
北海道	59.1	4.5	16.7	1.3	2.5	7.0	1.4	1.1	5.2
東北	4.2	48.8	30.3	3.0	3.3	4.5	1.3	0.4	2.9
関東	5.6	8.9	32.1	13.3	15.8	11.8	2.8	1.7	6.6
甲信越	1.8	9.5	33.4	26.6	13.3	8.0	2.2	1.2	3.8
中部	3.1	2.5	22.4	10.9	29.0	21.1	3.5	1.3	5.0
関西	4.9	2.6	16.4	5.5	14.8	34.3	8.4	4.9	6.9
中国	3.6	2.6	12.2	3.0	4.9	21.5	26.5	7.9	15.9
四国	3.0	4.1	15.9	3.6	5.7	28.0	11.1	18.2	9.5
九州	1.9	0.9	16.2	1.6	3.7	11.6	6.4	1.9	55.0

凡例：二重枠囲→ 旅行の目的地が居住エリア内である割合  
 : 色つきセル→旅行の目的地で最も多いエリア

## 5. 出発した日

(図表 I-11) 宿泊観光に出発した日



宿泊観光に出発したのは、「平日（月曜～金曜）のみ」の41.6%が最も多く、次いで「土・日・祝祭日」の31.3%が続いている。

出発日別に多い層をあげると次のようになる。

### 〔平日〕

性・年齢別では、男女とも高齢層に多く、全体的には男性（39.7%）と女性（43.5%）と女性の方がやや多い。

職業別では、曜日の制約が少ないと考えられる層に多くなっている。

多い層	平日のみ
男性 60～69歳	53.3%
70歳以上	71.2%
女性 60～69歳	56.6%
70歳以上	70.4%
無職	69.1%
農林漁業	65.4%

### 〔土・日・祝祭日〕

性・年齢別では、男性の30～34歳、男女の50代に多く、全体的には男性（32.6%）・女性（30.1%）となっている。

職業別では、管理職、事務・技術職に多い。

多い層	土・日・祝祭日
男性 30～34歳	42.6%
50～59歳	42.7%
女性 25～29歳	40.6%
事務・技術職	43.6%
管理職	40.9%

### 〔夏休み〕

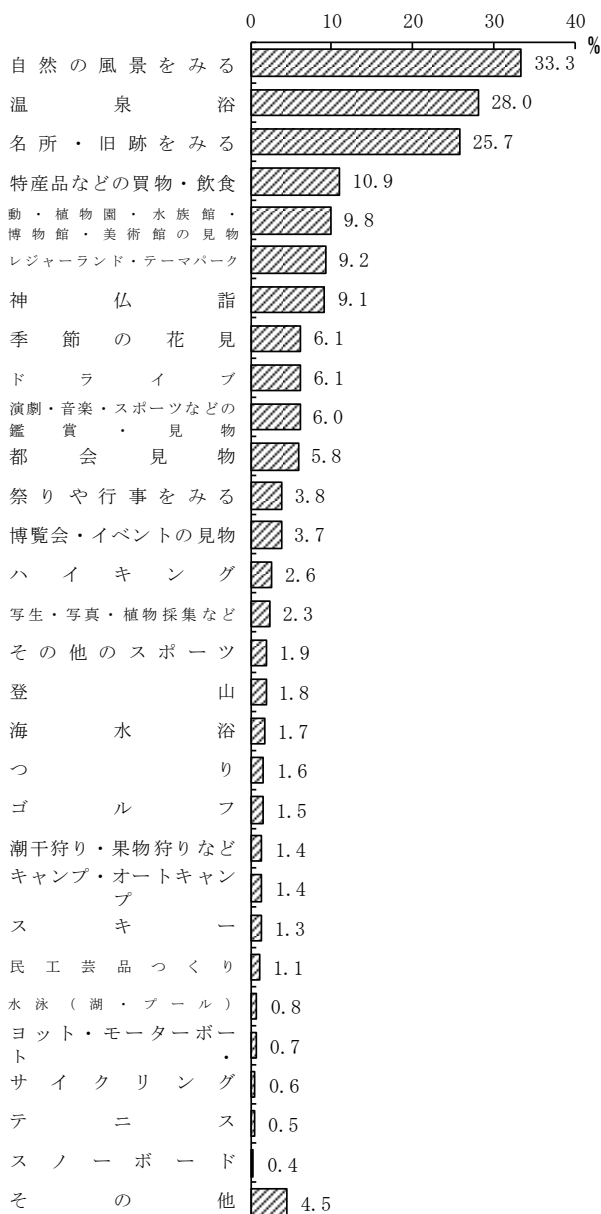
性・年齢別では、男女ともに10代～20代前半で多くなっている。

職業別では、学生（27.9%）に多くなっている。

多い層	夏休み
男性 15～17歳	35.6%
18～19歳	26.9%
20～24歳	20.8%
女性 15～17歳	26.4%
18～19歳	20.4%
学生	27.9%

## 6. 旅先での行動

(図表 I-16) 宿泊観光の旅先での行動



旅行先でのすべての行動を回答してもらったところ、多いものは次のとおりである。

- |                 |       |
|-----------------|-------|
| ①自然の風景をみる       | 33.3% |
| ②温泉浴            | 28.0% |
| ③名所・旧跡をみる       | 25.7% |
| ④特産品などの買物・飲食    | 10.9% |
| ⑤動・植物園・博物館などの見物 | 9.8%  |

また、宿泊観光1回ごとに主な行動を1つだけに限定してもらったと、その順位は次のようになる。

- |                  |       |
|------------------|-------|
| ①温泉浴             | 18.3% |
| ②自然の風景をみる        | 15.0% |
| ③名所・旧跡をみる        | 13.8% |
| ④レジャーランド・テーマパーク  | 7.1%  |
| ⑤演劇・音楽・スポーツなどの鑑賞 | 5.2%  |

すべての行動及び主な行動の上位3項目について、順位は異なるが同じ項目があげられた。

旅先での行動(複数回答)それぞれについて、多い層をあげると、次のようになる。(性年代、旅行同行者別)

**自然の風景をみる:**男性60歳以上(33.7~42.2%)、女性60歳以上(42.6~45.2%)、夫婦のみ(41.6%)

**温泉浴:**男性60歳以上(29.8~38.6%)、女性60歳以上(36.1~39.9%)、夫婦のみ(34.6%)、地域などの団体(33.3%)

**名所・旧跡をみる:**男性60歳以上(30.0~31.6%)、女性60歳以上(31.5~35.1%)、夫婦のみ(32.5%)、地域などの団体(25.8%)

**特産品などの買物・飲食:**男性60歳以上(10.4~11.7%)、女性50歳以上(15.1~16.6%)、夫婦のみ(13.4%)

**動・植物園・博物館などの見物:**男性35~39歳(13.3%)、女性30~34歳(12.5%)、女性60歳以上(いずれも12.4%)、夫婦のみとその他の家族(いずれも10.9%)

上位3項目について、属性別にみると、次のようになる。

(図表 I-16a) 旅行先での行動(都市規模別) (%)

目的	み自然の風景をみるを	温泉浴	み名所・旧跡をみるを
都市規模			
大都市	36.0	27.9	25.1
中都市	31.6	28.7	25.3
小都市	33.3	27.0	27.3
町村	31.1	26.5	27.2

都市規模別では、「自然の風景をみる」は大都市(36.0%)に多くなっている。

(図表 I-16b) 宿泊観光旅行先での行動(年齢別) (%)

目的	み自然の風景をみるを	温泉浴	み名所・旧跡をみるを
年齢			
15~17歳	19.4	12.0	18.1
18~19歳	21.5	12.3	14.6
20~24歳	21.7	13.3	17.4
25~29歳	26.3	17.9	20.7
30~34歳	26.1	23.3	19.8
35~39歳	23.4	22.3	16.6
40~49歳	28.6	23.4	21.6
50~59歳	31.4	25.0	24.9
60~69歳	37.9	32.8	32.4
70歳以上	43.7	39.3	31.6

年齢別にみると、「自然の風景をみる」、「温泉浴」、「名所・旧跡をみる」すべてで、50歳以上が多い。

(図表 I-16c) 宿泊観光先での行動(職業別) (%)

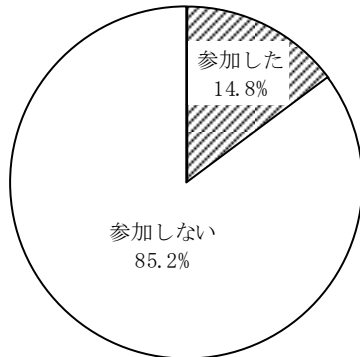
目的	み自然の風景をみるを	温泉浴	み名所・旧跡をみるを
職業			
農林漁業	35.8	32.1	18.5
自営の商工業	32.7	30.0	26.6
自由業	29.3	28.1	22.7
管理職	28.7	24.4	23.6
事務・技術職	27.0	20.4	22.5
労務・技能職	26.7	20.2	23.4
主婦・主夫	39.1	35.4	27.7
学生	21.9	13.8	17.3
無職	40.9	34.7	31.0

職業別では、「自然の風景をみる」は無職(40.9%)、主婦・主夫(39.1%)に多く、「温泉浴」は主婦・主夫(35.4%)、「名所・旧跡をみる」は無職(31.0%)に多い。



## 7. 募集团体参加の有無

(図表 I - 17) 募集团体参加の有無



旅行会社などが募集した団体に参加した宿泊観光旅行は、全体の14.8%である。

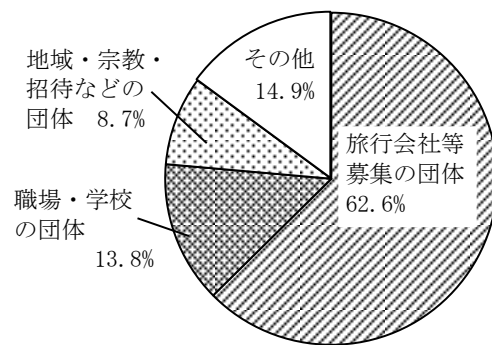
年齢別にみると、18～19歳(18.2%)・60歳以上(17.6～19.7%)が多くなっている。

職業別にみると、農林漁業(18.5%)の団体参加率が多い。

旅行の出発日別にみると、平日のみの場合には団体参加率が17.7%と多くなっている。

参加団体の内訳は次の通りである。

(図表 I - 18) 参加団体



団体参加の有無・同行者別にみると次のとおりである。

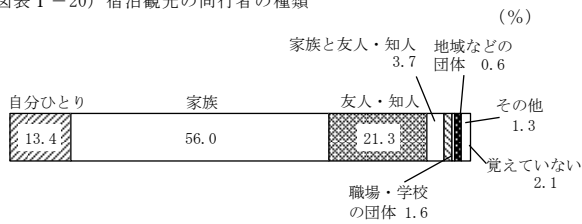
(図表 I - 19) 募集团体参加の有無及び同行者別にみた割合

宿泊観光旅行 (15,198回) 100%	募集团体に参加しない (12,942回) 85.2%	自分ひとり、家族(夫婦のみ、その他の家族)、友人・知人、家族と友人・知人(12,236回)94.5%	個人旅行 80.5%
	募集团体に参加した (2,256回) 14.8%	職場・学校の団体、地域・宗教・招待などの団体、その他、おぼえていない(706回)5.5%	団体旅行 19.5%

注：図表 I - 19 に記載されている「宿泊観光旅行」の回数は、1人あたり最大10回の宿泊観光旅行回数を母数としている。

## 8. 同行者の種類

(図表 I - 20) 宿泊観光の同行者の種類



誰と一緒にいったかをたずねたところ、「家族」「友人・知人」「家族と友人・知人」と行った小グループ旅行が8割以上を占めている。一方、「職場・学校の団体」「地域などの団体」は合わせて2.2%となっている。

(図表 I - 21) 宿泊観光の同行者の種類(都市規模別) (%)

	小グループ				団 体		
	家 族	友 人 ・ 知 人	家 友 人 ・ 知 人	小 計	職 場 ・ 学 校 の 団 体	地 域 な ど の 団 体	小 計
大都市	53.8	22.1	3.1	79.1	1.5	0.2	1.7
中都市	56.5	20.8	3.7	81.0	1.7	0.6	2.4
小都市	57.3	21.5	4.0	82.8	1.6	1.2	2.8
町 村	59.5	19.6	5.3	84.3	1.0	0.5	1.5

(図表 I - 22) 宿泊観光の同行者の種類 (年齢別)

	自分ひとり	家 族	友人・知人	家 族 と 友人・知人	職 場・学 校 の 団 体	地 域 な だ の 団 体
15～17歳	6.0	58.8	12.5	6.0	7.9	0.0
18～19歳	10.3	34.1	36.1	2.3	9.3	0.0
20～24歳	19.7	21.3	42.0	3.8	5.4	0.5
25～29歳	17.5	34.1	36.2	3.3	2.2	0.3
30～34歳	12.5	60.4	19.0	3.9	0.9	0.3
35～39歳	12.0	63.5	14.6	4.4	1.2	1.3
40～49歳	14.7	63.1	14.7	3.1	0.8	0.5
50～59歳	16.7	61.4	14.6	2.5	0.9	0.1
60～69歳	13.8	61.3	18.4	3.1	0.6	0.6
70歳以上	9.6	57.1	23.7	4.8	1.5	1.0

都市規模別にみると、「家族」は町村(59.5%)で最も多くなっている。

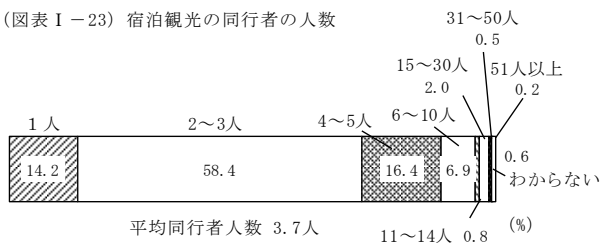
性別でみると、「家族」は女性に多い(57.5%)。「自分ひとり」は男性(18.1%)に多い。「友人・知人」は女性(24.8%)に多い。

年齢別にみると、「家族」は30歳～69歳(60.4～63.5%)で6割を超えて多くなっている。また、「友人・知人」は18～29歳(36.1～42.0%)に多い。「職場・学校の団体」は15～19歳(7.9%～9.3%)で多く、「地域などの団体」は35～39歳(1.3%)で多くなっている。

職業別にみると、「家族」は主婦・主夫(72.4%)で、「友人・知人」は学生(34.2%)、「職場・学校の団体」は学生(7.9%)で多くなっている。

## 9. 同行者の人数

(図表 I - 23) 宿泊観光の同行者の人数



一緒に宿泊観光をした人数は、「2～3人」(58.4%)と「4～5人」(16.4%)の小グループが7割以上を占めており、全体の平均同行者人数は3.7人である。

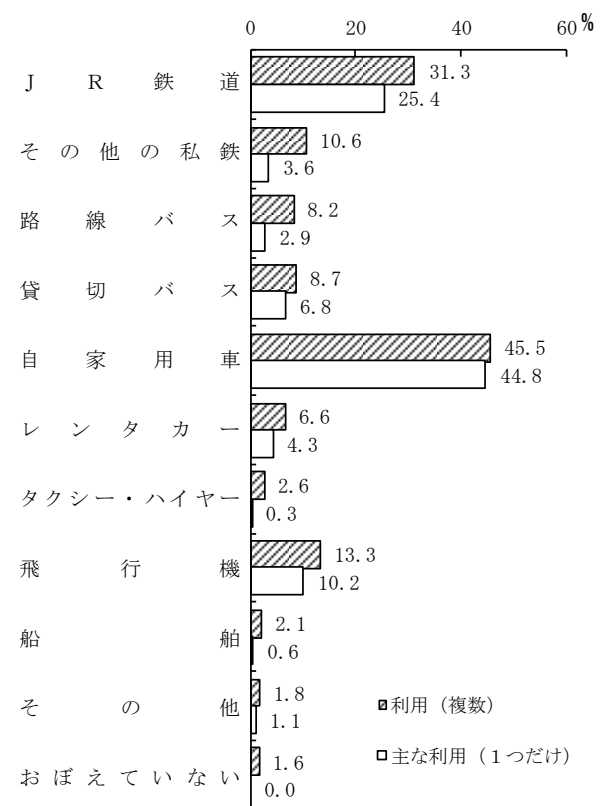
年齢別にみると、「2～3人」は25～34歳(60.3%～61.4%)と50～69歳(63.0～64.4%)に多く、「4～5人」は15～17歳(32.4%)に多い。

同行者別に平均同行者人数をみると、次のとおりである。

同行者の種類		平均同行者人数
小グループ	家族	3.0人
	友人・知人	4.2人
	家族と友人・知人	5.6人
団体	職場・学校の団体	28.9人
	地域などの団体	21.7人

## 10. 利用交通機関

(図表 I - 24) 宿泊観光の利用交通機関



宿泊観光で利用したすべての交通機関を複数回答であげてもらった結果は、「自家用車」が最も多く45.5%、次いで「JR」31.3%、「飛行機」13.3%の順となっている。これを主要な交通機関1つに限定しても、トップは「自家用車」(44.8%)、2位「JR」(25.4%)と3位「飛行機」(10.2%)の順位に変化はみられない。複数回答の利用交通機関の層別の特徴は次のとおりである。

<地域別>

- ・ 自家用車
  - 甲信越 (59.0%)
  - 東 北 (52.5%)
- ・ J R
  - 関 東 (34.8%)
  - 中 部 (33.3%)
- ・ 貸切 バス
  - 四 国 (13.9%)
  - 中 国 (10.6%)

- ・飛行機 北海道 (28.6%)
- 四国 (22.5%)
- ・船舶 四国 (5.0%)
- 北海道 (3.3%)

<都市規模別>

大都市は「JR」がやや多く、「自家用車」が他の都市規模と比べて少なくなっている。

(図表 I-25) 利用交通機関(都市規模別) (%)

都市規模別	自家用車	JR鉄道	飛行機
大都市	38.0	35.7	15.1
中都市	46.8	30.8	12.5
小都市	53.2	26.4	11.9
町村	53.0	26.9	12.8

<年齢別>

- ・自家用車 35～39歳 (55.8%)
- 40～49歳 (51.0%)
- ・JR 18～19歳 (44.4%)
- 20～24歳 (43.2%)
- ・貸切バス 15～17歳 (12.5%)
- 70歳以上 (16.2%)
- ・飛行機 50～59歳 (15.4%)
- 60～69歳 (15.0%)

<職業別>

- ・自家用車 商工業 (55.1%)
- 主婦・主夫 (48.4%)
- ・JR 学生 (42.8%)
- 自由業 (37.0%)
- ・貸切バス 農林漁業 (13.6%)
- 無職 (13.6%)
- 主婦・主夫 (11.4%)
- ・飛行機 管理職 (19.4%)
- 自由業 (17.3%)

<行動別>

宿泊観光で利用した交通機関を、宿泊観光の主な行動別にみると「自家用車」の利用はドライブ(81.0%)、キャンプ(75.5%)、スキー(69.8%)、スノーボード(66.7%)で特に多くなっている。

「JR」の利用は都会見物(57.3%)、演劇・音楽・スポーツなどの鑑賞(53.6%)で、「貸切バス」の利用はハイキング(18.8%)、「飛行機」はヨット・モーターボート・ダイビング・サーフィンなど(40.3%)で多くなっている。

<同行者別>

※複数回答

同行者	最も利用が多い交通機関	
自分ひとり	JR鉄道	51.2%
家族	自家用車	56.3%
友人・知人	JR鉄道	38.9%
家族と友人・知人	自家用車	52.6%
職場・学校の団体	貸切バス	38.8%
地域などの団体	貸切バス	59.1%

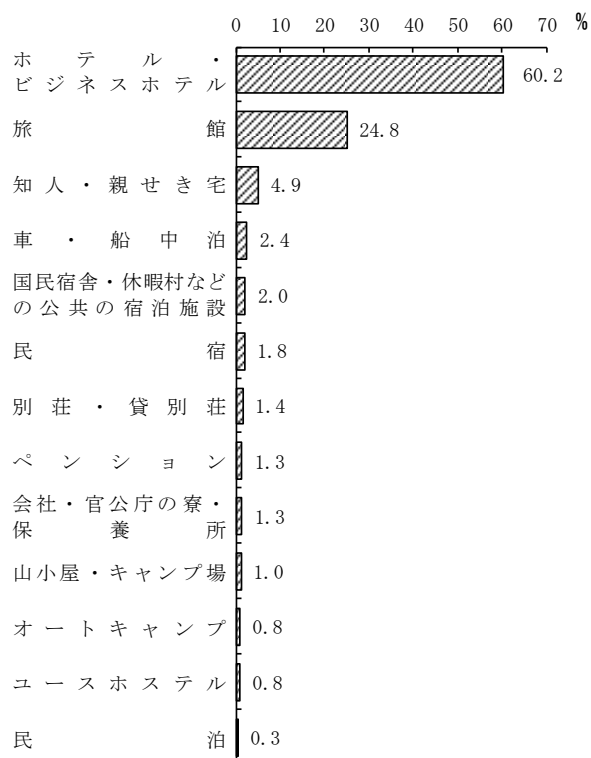
<同行者の人数別>

※複数回答

同行者	最も利用が多い交通機関	
1人	JR鉄道	50.0%
2～3人	自家用車	48.0%
4～5人	自家用車	61.7%
6～10人	自家用車	52.1%
11～14人	自家用車	50.4%
15～30人	貸切バス	49.5%
31～50人	貸切バス	67.6%
51人以上	貸切バス	76.5%

## 11. 利用宿泊施設

(図表 I-26) 利用宿泊施設



宿泊施設は「ホテル・ビジネスホテル」が最も多く60.2%、次いで「旅館」が24.8%で、以下は大きく離れて「知人・親せき宅」(4.9%)、「車・船中泊」(2.4%)、「国民宿舎など公共の宿泊施設」(2.0%)、「民宿」(1.8%)などの順となっている。「民泊」は0.3%と少ない。

目的地別にみると、「ホテル・ビジネスホテル」は北海道(69.8%)、九州(67.4%)に、「旅館」は東北(34.8%)、中部(33.1%)に多い。

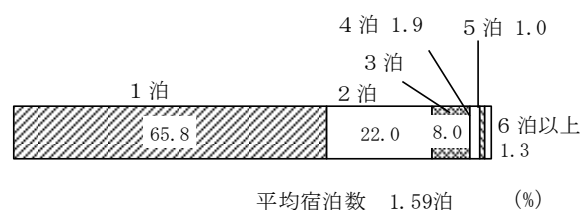
年齢別にみると、「ホテル・ビジネスホテル」は50～59歳(66.7%)に多く、「旅館」は70歳以上(34.8%)に多い。また、「知人・親せき宅」は15～17歳(11.6%)で、「車・船中泊」も15～17歳(6.0%)でそれぞれやや多くなっている。

宿泊観光の主な行動別にみると、「ホテル・ビジネスホテル」は演劇・音楽・スポーツなどの鑑賞(81.3%)、レジャーランド・テーマパーク(78.7%)、都会見物(78.2%)で、「旅館」は温泉浴(51.5%)が多い。

同行者別にみると、「ホテル・ビジネスホテル」は自分ひとり(72.0%)が、「旅館」は地域などの団体(46.2%)が多い。

## 12. 宿泊数

(図表 I-27) 宿泊数



1泊の宿泊観光が65.8%と6割以上を占め、平均の宿泊数は1.59泊となっている。

15歳以上の全国民の人口から過去1年間の宿泊観光旅行の総泊数は、延23,732泊と推計される。

平均宿泊数を層別にみると、次のとおりである。年齢別では、60～69歳(1.71泊)の平均宿泊数が最も長くなっている。

職業別では、無職(1.72泊)の平均宿泊数が最も長く、労務・技能職(1.36泊)で最も短くなっている。

宿泊観光の主な行動別にみると、つり(2.21泊)が最も長く、次いでヨット・モーターボート・ダイビング・サーフィンなど(2.13泊)。最も平均宿泊数が短いのは、演劇・音楽・スポーツなどの鑑賞と温泉浴(ともに1.41泊)となっている。

宿泊施設ごとの宿泊数をみると、次の通りである。

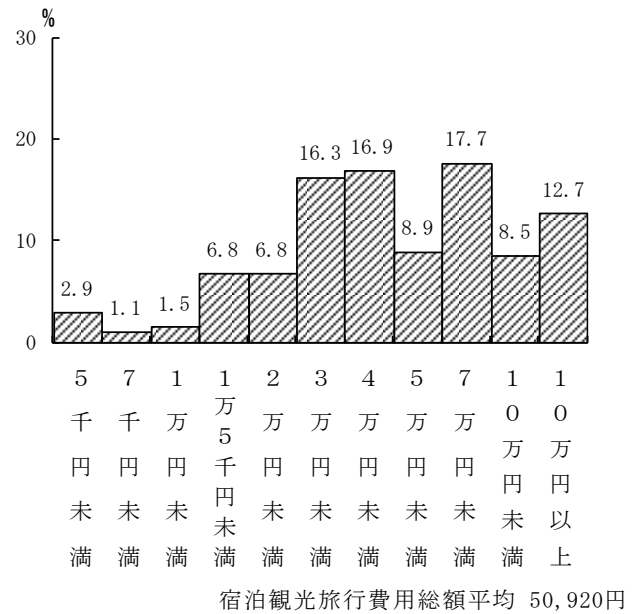
(図表 I - 28) 宿泊数 (宿泊施設別)

宿泊施設	利用率	宿泊観光 1回あたりの 宿泊数
ホテル・ビジネスホテル	60.2%	1.62泊
旅館	24.8%	1.51泊
知人・親せき宅	4.9%	2.50泊
車・船中泊	2.4%	3.09泊
国民宿舎・休暇村などの公共の宿泊施設	2.0%	2.01泊
民宿	1.8%	2.22泊
別荘・貸別荘	1.4%	2.68泊
ペンション	1.3%	2.41泊
会社・官公庁の寮・保養所	1.3%	2.15泊
山小屋・キャンプ場	1.0%	2.45泊
オートキャンプ	0.8%	2.73泊
ユースホステル	0.8%	2.58泊
民泊	0.3%	4.70泊

民泊 (4.70泊)、車・船中泊 (3.09泊)、オートキャンプ (2.73泊) での宿泊数が長く、ホテル・ビジネスホテル (1.62泊)、旅館 (1.51泊) でやや短くなっている。

### 13. 旅行費用

(図表 I - 29) 宿泊観光の旅行費用



全宿泊観光旅行の費用総額の平均は50,920円で、5万円未満がおよそ6割(61.2%)を占めている。

このうち、団体以外の宿泊観光旅行 (延12,624回) について、宿泊費、交通費、土産代、その他の平均費用をみると、次のようになる。

・宿泊費	19,770円	40.5%
・交通費	14,540円	29.8%
・土産代	4,660円	9.5%
・観光行動費	9,860円	20.2%
(計)	48,830円	100.0%

平均値の合計を100として、それぞれの費目の構成比をみると、宿泊費が最もウェートを占めており、土産代のウェートが最も低くなっている。

#### (A) 総費用

宿泊観光1回あたりの総費用をもとにして、1泊あたり総費用、個人の年間宿泊旅行費用、全国民の年間宿泊旅行費用を算出してみると、次のようになる。

1回の総費用	50,920円
1泊あたりに換算した 場合の総費用	32,030円
	平均宿泊数 1.59泊
個人年間宿泊観光 旅行費用	130,360円
	参加者平均 2.56回
男性	136,470円
	参加者平均 2.68回
女性	125,260円
	参加者平均 2.46回
15歳以上の 国民年間宿泊観光 旅行費用	7兆6,113億円
15歳以上の人口 10975万人 の平均参加回数	1.36回

1回あたりの総費用の層別の特徴は次のとおりである。

性別では、男性（49,630円）と女性（52,240円）で女性がやや高い。年齢別では、40代（55,940円）での平均費用総額が最も高くなっている。

職業別では、管理職（63,420円）と自由業（56,030円）と農林漁業（55,580円）の費用が高くなっている。

主な旅行行動別では、海水浴（72,680円）が最も高く、次いでスノーボード（70,020円）が高くなっている。

目的地別では、北海道（69,300円）、九州（62,620円）が高く、最も低いのは甲信越（42,920円）となっている。

主な利用交通機関別では、タクシー・ハイヤー（94,350円）、飛行機（86,730円）を利用した場合が高く、自家用車（41,340円）が最も低くなっている。

同行者別では、家族（57,580円）が最も高く、地域などの団体（31,260円）で最も低い。

### （B）費用内訳

費用の内訳については、団体に参加しない宿泊観光旅行（個人旅行）費のみでみることにする。

（団体参加の費用内訳は不明）

#### ① 宿泊費

宿泊観光1回あたりの平均宿泊費は、19,770円である。

宿泊費の特徴をみると次のとおりである。

性・年齢別：男性では、15～17歳（21,480円）40歳以上（20,860～21,980円）、女性では30～39歳（23,060～23,060円）、50歳以上（20,530～21,330円）が2万円台を超えている。

（図表 I - 30）旅行費用（性・年齢別）（千円）

性・年齢	宿泊観光旅行全体	団体以外の宿泊観光旅行の内訳			
	総費用	宿泊費	交通費	土産代	行動費
男性（小計）	49.6	19.9	14.7	4.2	9.6
15～17歳	51.9	21.5	7.8	6.2	14.5
18～19歳	36.2	11.0	9.6	4.2	8.6
20～24歳	39.8	11.3	12.0	2.2	9.1
25～29歳	41.6	13.6	13.0	4.0	8.7
30～34歳	43.6	16.3	12.2	4.1	8.1
35～39歳	48.4	18.7	13.3	4.1	9.3
40～49歳	55.4	22.0	16.3	4.3	11.2
50～59歳	50.5	20.9	16.4	4.0	9.4
60～69歳	51.6	21.2	15.7	4.4	10.4
70歳以上	50.7	21.7	14.4	4.3	8.7
女性（小計）	52.2	19.7	14.4	5.1	10.1
15～17歳	35.9	9.7	8.3	5.0	6.9
18～19歳	35.5	12.2	11.9	5.3	9.9
20～24歳	39.6	13.1	10.7	3.7	7.9
25～29歳	43.9	13.9	13.7	5.1	8.9
30～34歳	59.8	24.9	16.4	5.9	11.8
35～39歳	57.4	23.1	13.4	5.3	12.8
40～49歳	56.6	20.0	14.4	5.1	10.3
50～59歳	55.2	20.6	15.2	5.4	11.3
60～69歳	56.2	20.5	16.3	5.7	10.2
70歳以上	50.7	21.3	14.4	4.8	9.3

行動別：行動別上位8位の中でみると、レジャーランド・テーマパークの時に宿泊費が高くなっている。

(図表 I-31) 旅行費用 (行動別・宿泊数別) (千円)

	宿泊観光 旅行全体	団体以外の宿泊観光旅行の内訳			
	総費用	宿泊費	交通費	土産代	行動費
〔行動別〕					
自然の風景	54.9	22.0	15.6	5.1	9.5
温泉浴	47.5	23.3	10.7	4.3	7.6
名所・旧跡	58.6	21.9	18.5	5.6	10.6
特産品	55.9	20.9	15.3	6.3	9.8
動物園などの見物	61.8	23.8	18.9	5.4	11.6
レジャーランド	64.4	24.8	14.6	7.5	15.3
神仏詣	56.7	20.3	17.3	5.4	10.7
季節の花見	52.7	20.2	14.3	4.7	8.8
〔宿泊数別〕					
1泊	36.6	15.1	10.0	3.6	7.1
2泊	68.3	26.1	20.2	6.0	13.2
3泊	91.8	33.5	28.9	8.3	17.3
4泊	103.0	38.6	35.2	8.2	20.1
5泊	101.0	36.0	25.5	8.9	19.5
6泊以上	115.4	45.7	34.2	8.6	28.1

(注) 宿泊施設利用は、複数回答で、費用は利用施設ごとに求めたものではなく、1回の宿泊観光について、費用(総費用、宿泊費、交通費など)ごとにまとめている。

したがって、ある宿泊観光で旅館と民宿を利用した場合、それらの合計宿泊費が旅館・民宿の双方に表示されていることに注意されたい。

利用宿泊施設別：利用した宿泊施設別の観光旅行の平均宿泊費は次のとおりである。  
(千円)

宿 泊 施 設	宿泊費
ホテル・ビジネスホテル	20.8
旅 館	26.1
ユースホステル	16.7
国民宿舎等の公共宿泊施設	24.3
会社・官公庁の寮・保養所	15.2
民 宿	18.7
ペンション	17.9
山小屋・キャンプ場	12.2
オートキャンプ	7.5
別荘・貸別荘	10.8
知人・親戚宅	4.8
車・船中泊	8.7
民 泊	9.3

## ② 交通費

宿泊観光1回あたりの交通費は、14,540円である。

性別：女性(14,410円)より男性(14,680円)がやや高くなっている。

地域別：四国(20,020円)が最も高く、中部(13,040円)が最も低くなっている。

主な交通機関：主に利用した交通機関別の交通費は、自家用車(7,950円)が最も安く、飛行機(34,370円)が高くなっている。

(図表 I-32) 交通費(主な交通機関別) (千円)

主な交通機関	総費用	交通費
J R	53.9	19.0
私 鉄	46.2	12.7
路 線 バ ス	41.9	11.8
貸 切 バ ス	42.3	8.4
自 家 用 車	41.3	8.0
レ ン タ カ ー	78.5	27.4
タ ク シ ー ・ ハ イ ヤ ー	94.4	23.9
飛 行 機	86.7	34.4
船 舶	73.2	28.6



### ③ 土産代

土産にかけた費用は、4,660円である。

性別では、男性平均（4,170円）よりも女性平均（5,140円）が高くなっている。

同行者別では、家族（5,290円）が最も高く、自分ひとり（3,050円）が最も低い。

目的地別にみると、北海道（6,190円）が最も高く、甲信越（3,820円）が最も低い。

この1年間に宿泊観光を実施しなかった理由は、「時間的余裕がない」（39.8%）が最も多く、以下「経済的余裕がない」（37.8%）、「何となく旅行しないまま過ぎた」（17.5%）、「家を離れられない事情があった」（15.5%）、「健康上の理由で」（10.3%）などの理由が多くなっている。

### ④ 観光行動費

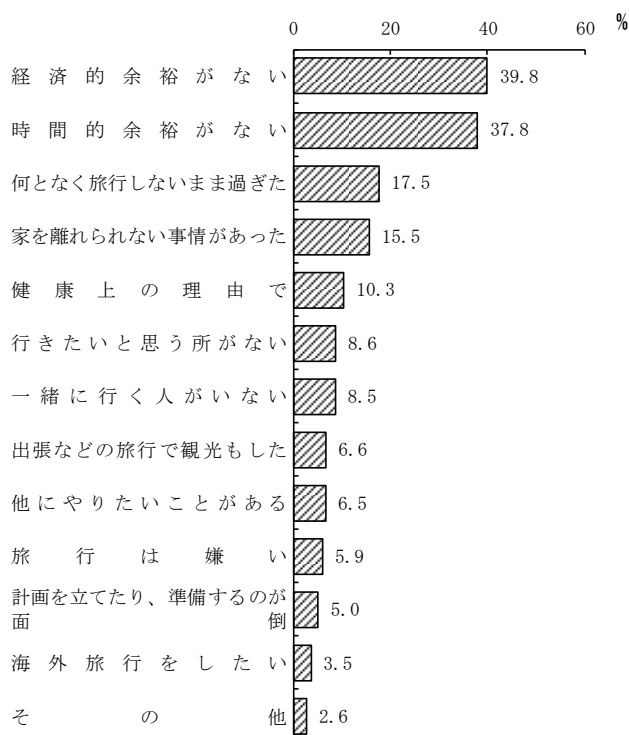
食事代、入場料、体験費用などの費用にかかったのは、9,860円である。

性別ではほとんど差はみられない。

目的地別にみると、北海道（11,520円）が最も高く、東北（6,820円）が最も低い。

## 14. 宿泊観光旅行を実施しなかった理由

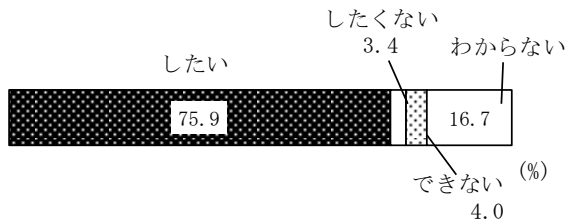
（図表 I - 33） 宿泊観光を実施しなかった理由



## II 今後の旅行に関して 今後1年間の国内宿泊観光旅行の希望

### 1. 参加希望率

(図表 II - 1) 宿泊観光の参加希望率



今後1年間に国内の宿泊観光旅行を「したい」という人は、全体の75.9%を占めている。

実際に過去1年間に国内の宿泊観光旅行をした人は53.2%で、希望と実際の差は22.7ポイントである。

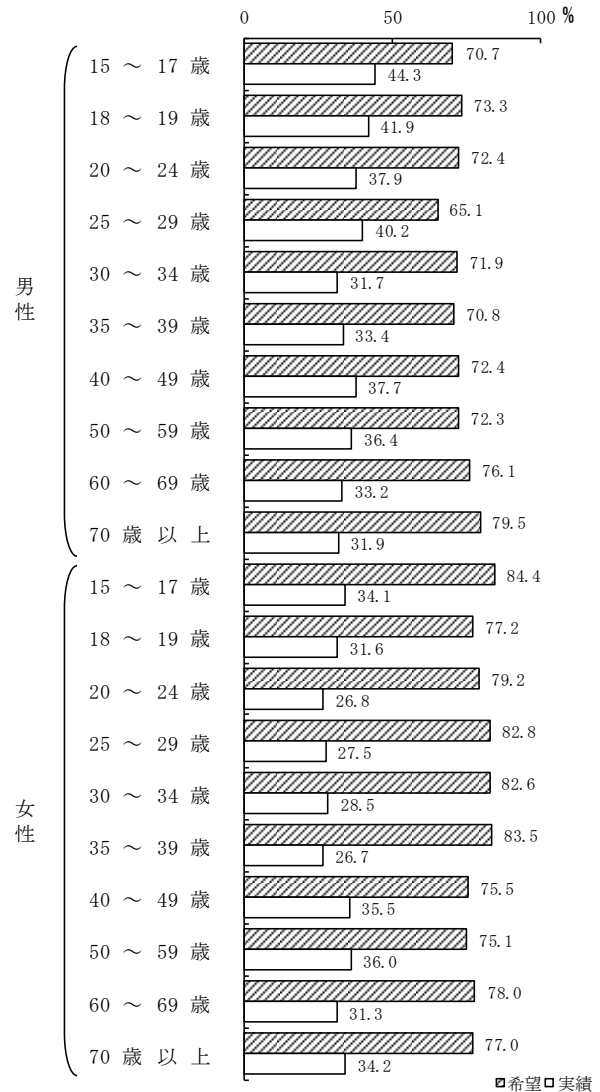
今後の希望と過去1年間の実績を性・年齢別に比較すると右図のとおりである。

いずれの層でも希望が実績を上回っている。特に、女性の15～17歳(84.4%)、20代(79.2～82.8%)・30代(82.6～83.5%)や男性の70歳以上(79.5%)での希望が多くなっている。

また、実績と希望のギャップに着目すると、ギャップが30ポイント以上で大きいのは、女性の35～39歳(56.8ポイント差)。男性では70歳以上(47.6ポイント差)での差が大きい。

また、過去1年間に1度も宿泊旅行に出かけなかった人で今後の参加を希望している人は46.3%であるのに対し、宿泊観光経験者で参加希望している人は91.2%である。

(図表 II - 2) 宿泊観光の参加希望率(性・年齢別)



### 2. 参加希望回数

宿泊観光を希望した人の平均参加希望回数は、2.33回であった。これは実際に参加した人の参加回数平均(2.56回)をやや下回っている。

ただし、参加希望者で「したいが回数はわからない」と答えている人は、全体の2割超(25.3%)であることに注目したい。

(図表Ⅱ-3) 希望回数と実績(性・年齢別) (回)

	希望	実績 (参加者平均)
全体	2.33	2.56
男性(小計)	2.37	2.68
15～17歳	2.11	1.30
18～19歳	2.32	2.01
20～24歳	2.47	2.93
25～29歳	2.39	2.88
30～34歳	2.25	2.39
35～39歳	2.15	2.43
40～49歳	2.15	2.28
50～59歳	2.34	2.77
60～69歳	2.67	3.18
70歳以上	2.47	2.78
女性(小計)	2.28	2.46
15～17歳	2.15	1.57
18～19歳	2.53	1.78
20～24歳	2.53	2.64
25～29歳	2.24	2.55
30～34歳	2.01	2.01
35～39歳	2.12	2.15
40～49歳	2.01	2.02
50～59歳	2.26	2.58
60～69歳	2.45	2.62
70歳以上	2.47	2.91

性・年齢別にみると、女性(2.28回)よりも男性(2.37回)のほうがやや参加希望回数が多く、最も多いのは、男性60～69歳(2.67回)である。

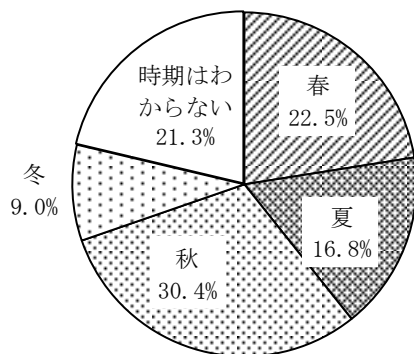
実績が希望回数を下回っているのは以下の属性。

男性：15～17歳、18～19歳

女性：15～17歳、18～19歳

### 3. 希望季節

(図表Ⅱ-4) 希望季節



宿泊観光をしたい人がこの次の旅行をする場合に希望する季節は「秋」が最も多く30.4%、次いで「春」22.5%、「夏」16.8%、「冬」9.0%の順となっている。

年齢別にみると、「秋」は50歳以上(30.6～41.8%)、「春」は70歳以上(25.0%)、「夏」は15～17歳(22.8%)で、「冬」は18～24歳(14.3～14.9%)で、それぞれ他の年代より多くなっている。

### 4. 希望費用

(図表Ⅱ-5) 宿泊観光の希望費用と実績 (千円)

性・年齢別	希望	実績 (参加者平均)
全体	45.8	50.9
男性(小計)	45.3	49.6
15～17歳	35.6	51.9
18～19歳	41.4	36.2
20～24歳	37.4	39.8
25～29歳	39.7	41.6
30～34歳	39.1	43.6
35～39歳	40.5	48.4
40～49歳	43.2	55.4
50～59歳	45.1	50.5
60～69歳	50.9	51.6
70歳以上	50.6	50.7
女性(小計)	46.3	52.2
15～17歳	34.9	35.9
18～19歳	39.0	35.5
20～24歳	36.1	39.6
25～29歳	39.7	43.9
30～34歳	41.4	59.8
35～39歳	40.3	57.4
40～49歳	43.0	56.6
50～59歳	47.7	55.2
60～69歳	54.3	56.2
70歳以上	51.6	50.7

希望する宿泊観光の想定する費用総額をカテゴリーに分けたところ、「4万円～5万円未満」(16.4%)が最も多く、「2万円～3万円未満」(15.4%)、「3万円～4万円未満」(13.3%)、「5万円～7万円未満」(13.1%)が続き、合わ

せると2万円～7万円未満という人が全体の5割以上を占めている。

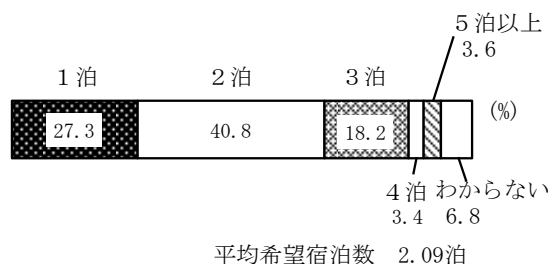
各カテゴリーの中位数をとって、希望費用額の平均を算出すると、45,810円である。この金額は、過去1年間に宿泊観光に参加した人の平均実績額50,920円に比べ5,110円低くなっている。

性・年齢別にみると、男性・女性ともに希望費用が5万円を超えて多くなっている。

希望費用額と実績額のギャップをみると、希望額が実績額を上回る層は男性18～19歳、女性18～19歳・70歳以上のみで、実績額が希望額を最も上回るのは女性30～34歳（差額18,360円）となっている。

## 5. 希望宿泊数

(図表Ⅱ-6) 宿泊観光の希望宿泊数



「2泊」(40.8%)の希望が最も多く、次いで、「1泊」(27.3%)の希望が続いている。1～2泊を合わせると7割弱となっている。

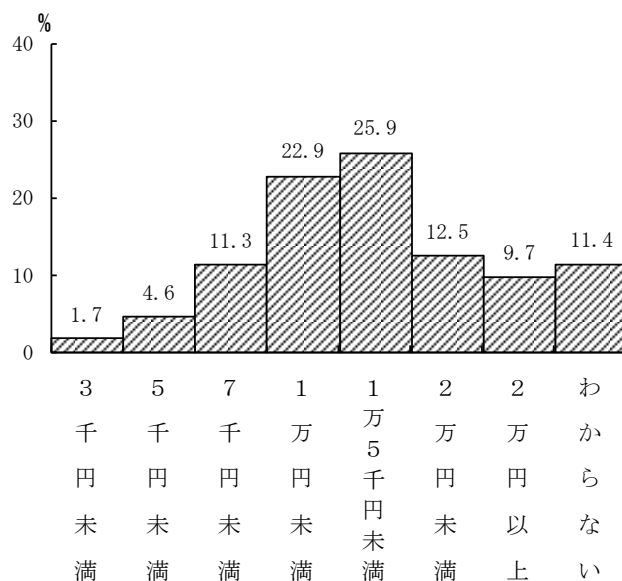
平均希望宿泊数は2.09泊で、実績の平均宿泊数1.59泊より長くなっている。

年齢別にみると、15～17歳(2.29泊)、60～69歳(2.20泊)で希望宿泊数が長くなっている。

職業別では、管理職(2.25泊)、自由業(2.23泊)の希望宿泊数が長くなっている。

## 6. 希望宿泊費

(図表Ⅱ-7) 宿泊観光の希望宿泊費



平均希望宿泊費 11,510円

1泊あたりの希望宿泊費は、「1万円～1万5千円未満」が最も多く25.9%、次いで「7千円～1万円未満」が22.9%、「1万5千円～2万円未満」が12.5%などとなっている。

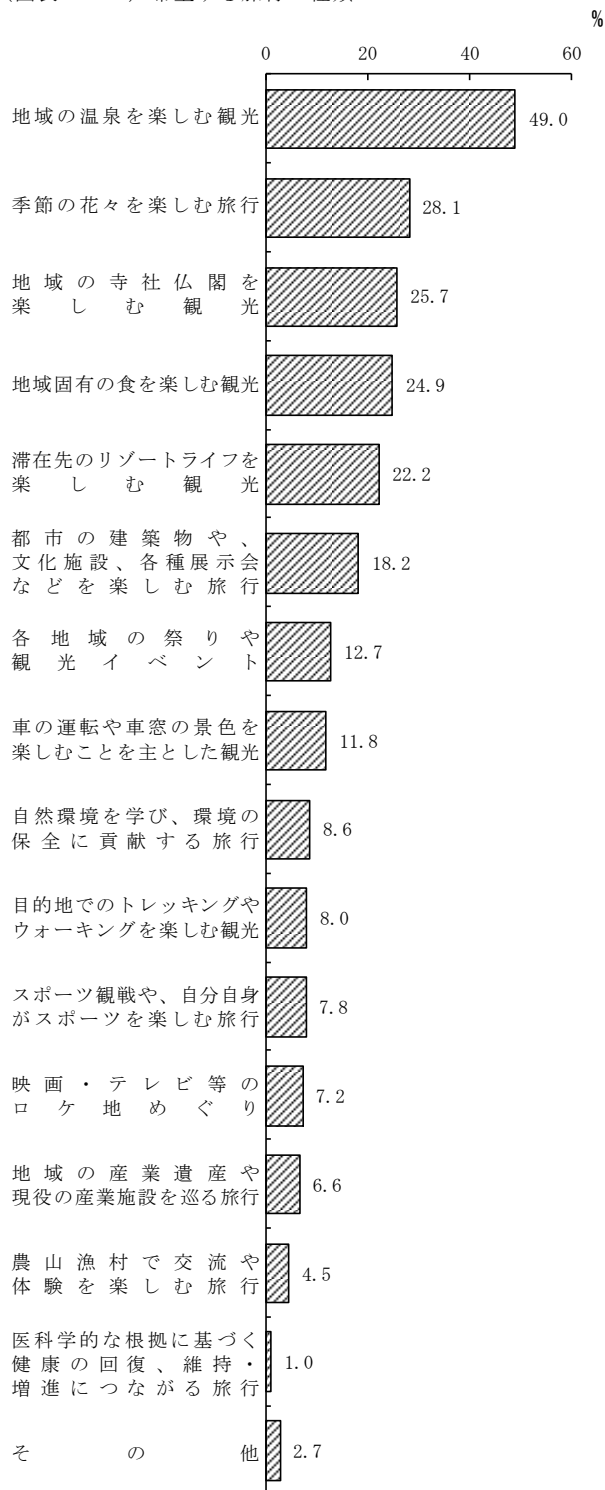
各カテゴリーの中位数をとって平均希望宿泊費を算出すると、11,510円である。この金額は、平均実績額19,770円に比べ8,260円低くなっている。

年齢別では、60代以上が12,000円を超えており、高い希望金額となっている。

地域別にみると、中部(11,910円)と関東(11,900円)で希望金額がやや高く、九州(10,690円)で比較的希望金額が低い傾向にある。

## 7. 希望する旅行の種類

(図表Ⅱ-8) 希望する旅行の種類



ぜひ行きたいと思う旅行を3つまであげてもらったところ、「温泉を楽しむ」(49.0%)が多く、以下、「季節の花々を楽しむ」(28.1%)、「地域の寺社仏閣を楽しむ」(25.7%)となっている。

年齢別にみると、「温泉を楽しむ」、「季節の花々を楽しむ」、「地域の寺社仏閣を楽しむ」はすべて60歳以上で多く、「地域固有の食を楽しむ」は、30歳～39歳でやや高くなっている。

(図表Ⅱ-9) 希望する旅行(年齢別)

年齢	地域の温泉を楽しむ観光 (%)	季節の花々を楽しむ旅行 (%)	地域の寺社仏閣を楽しむ観光 (%)	地域固有の食を楽しむ観光 (%)
15～17歳	32.8	16.6	12.0	24.7
18～19歳	31.5	14.5	11.3	22.6
20～24歳	38.5	18.0	13.7	21.7
25～29歳	39.0	19.9	18.4	25.6
30～34歳	42.6	18.4	16.1	29.8
35～39歳	44.0	19.6	20.8	27.5
40～49歳	43.6	18.5	23.3	25.8
50～59歳	47.8	23.2	26.1	24.2
60～69歳	57.8	35.9	31.8	25.3
70歳以上	60.2	46.2	35.1	23.0

性別で男女の差が大きい項目をみると、「車の運転」(男性15.4%、女性8.5%)や「スポーツ観戦」(男性10.4%、女性5.3%)は男性のほうが高く、「季節の花々を楽しむ」(女性33.7%、男性22.2%)や「リゾートライフを楽しむ」(女性25.6%、男性18.6%)では女性のほうが高い。

地域別にみると、「温泉を楽しむ」は中国(50.4%)、関西(50.3%)、関東(50.0%)で5割を超えている。

宿泊観光旅行の希望季節別にみると、「温泉を楽しむ」は秋(56.0%)が最も高く、「季節の花々を楽しむ」では春(33.2%)と秋(32.4%)が高くなっている。「地域の寺社仏閣を楽しむ」では秋(31.4%)が高くなっている。